

中村けんいち

1974年5月28日生まれ。富士宮市立貫船小学校、富士宮市立富士宮第三中学校、静岡県立富士高等学校、明治大学政治経済学部経済学科卒業。卒業後、静岡県議会議員秘書を務める。ウエストミンスター大学（イギリス）に語学留学。帰国後、民間企業に就職する。2015年富士宮市議会議員選挙当選（2期）。2021年7月衆議院議員選挙出馬のため、覚悟を示し富士宮市議会議員を辞職。

現役職

■日本維新の会衆議院静岡県第4選挙区支部長 ■日本維新の会静岡県総支部副代表
■富士宮ロータリークラブ会員 ■富士宮市消防団第7分団部長

元役職

■富士宮市議会議員 ■富士宮市議会環境厚生委員会委員長 ■岳南排水路管理組合監査委員

今こそ、「日本大改革」を。

既存政党による現状維持、
微修正型政治の延長線上に、
解決策は無い。

日本大改革

経済成長と格差解消を
実現するグレートリセット

● 税制改革

— 消費税を5%に引き下げ
— フローからストックへ

● 社会保障改革

— ベーシックインカム
— 持続可能なセーフティネット

● 成長戦略

— 規制緩和、デジタル改革
— 日本全体の生産性の向上

教育の無償化で、あらゆる格差が固定化しない 社会の実現

教育に公的資金を投入し、経済的な理由で進学・学問の
機会を断念することがない教育環境の構築

経済格差、教育格差、世代間格差等、社会の活力を失わせる格差を放置しない

政治家の最も重要な使命である公平公正な所得の再分配を駆使し、既得権者に迎合することなく、富の偏在を解消

社会移動を容易にすることにより活力を取り戻し、将来の成長に結びつける

教育の機会均等を保障し、誰もも出自や成育環境に左右されずその可能性に
挑戦できる環境を作る為、憲法改正による教育無償化の実現

重症化防止にターゲットを絞り、ワクチン、治療薬で社会経済活動を進め、非接触非対面のデジタル社会を見据えた構造改革の断行

コロナに打ち勝ち、
ピンチをチャンスに

行財政改革を断行し、
無駄な投資は一切せず、将来の
国民の皆様につけを残さない

身を切る改革 増税の前に
やるべきことがある

中央集権という既得権益を打破し、
統治機構改革で地方を活性化

既得権益と
中央集権の打破

ベーシックインカム、企業規模の拡大、
労働生産性の向上を実現することにより
国民所得アップで経済成長

年率4%の名目成長もって、
10年間で国民所得の
50%アップを達成

地域資源を活用した再生可能エネルギー
を推進することにより、脱原発依存、
脱炭素社会と自立分散型社会を実現

脱原発依存、脱炭素体制
の構築を実現するための
再生可能エネルギー推進

日米同盟を基軸とし、バランスオブ
パワー（勢力均衡）に配慮した
米中拮抗時代の新しい外交

生命と安全を守るための
バランス重視の
多国間外交を展開